



## K コマンド

この章では、K で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

### key

キーを作成する、または既存キーのコンフィギュレーション モードを開始するには、**key** コマンドを使用します。キーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**key** *key-ID*

**no key** *key-ID*

シンタックスの説明	<i>key-ID</i> 設定するキーの ID。ID は、0 ~ 65535 の整数を指定する必要があります。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	キーチェーン コンフィギュレーション				
サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	新しいキーにはキー スtring は含まれていません。 このコマンドには、ライセンスは不要です。				
例	次に、glbp-keys キーチェーンのキー 13 で、キー コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。 <pre>switch# configure terminal switch(config)# key chain glbp-keys switch(config-keychain)# key 13 switch(config-keychain-key)#</pre>				

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>accept-lifetime</b>	キーの許容ライフタイムを設定します。
<b>key chain</b>	キーチェーンを作成して、キーチェーン コンフィギュレーション モードを開始します。
<b>key-string</b>	特定のキーの共有秘密（テキスト）を設定します。
<b>send-lifetime</b>	キーの送信ライフタイムを設定します。
<b>show key chain</b>	キーチェーン設定を表示します。

# key-string

キーのテキストを設定するには、**key-string** コマンドを使用します。テキストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
key-string [encryption-type] text-string
```

```
no key-string text-string
```

シンタックスの説明	
<i>encryption-type</i>	(任意) 使用する暗号化のタイプを指定します。 <i>encryption-type</i> 引数に、次のいずれかの値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>0 — 暗号化されていないテキスト文字列を入力します。これがデフォルトです。</li> <li>7 — 暗号化されたテキスト文字を入力します。暗号化方式は、シスコの独自方式です。このオプションは、別の NX-OS デバイス上で実行した <b>show key chain</b> コマンドの暗号化出力に基づいて、テキスト文字列を入力する場合に役立ちます。</li> </ul>
<i>text-string</i>	キー スtring のテキスト。最大 63 文字の大文字と小文字を区別した英数字で指定します。

デフォルト なし

コマンド モード キー コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール network-admin  
vdc-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** キー スtring のテキストは、共有秘密です。キー スtring は安全な形式で保管されます。暗号化されたキー スtring は、別の NX-OS デバイスで **show key chain** コマンドを実行することにより、取得できます。このコマンドには、ライセンスは不要です。

**例** 次に、キー 13 の暗号化共有秘密を入力する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# key chain glbp-keys
switch(config-keychain)# key 13
switch(config-keychain-key)# key-string 7
071a33595c1d0c1702170203163e3e21213c20361a021f11
switch(config-keychain-key)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>accept-lifetime</b>	キーの許容ライフタイムを設定します。
<b>key</b>	キーを設定します。
<b>key chain</b>	キーチェーンを設定します。
<b>send-lifetime</b>	キーの送信ライフタイムを設定します。
<b>show key chain</b>	キーチェーン設定を表示します。

# key chain

キーチェーンを作成する、または既存のキーチェーンを設定するには、**key chain** コマンドを使用します。キーチェーンを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**key chain** *keychain-name*

**no key chain** *keychain-name*

<b>シンタックスの説明</b>	<i>keychain-name</i> キーチェーンの名前。最大 63 文字の英数字で、大文字と小文字を区別して指定します。
------------------	---

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンド モード</b>	グローバル コンフィギュレーション
-----------------	-------------------

<b>サポートされるユーザロール</b>	network-admin vdc-admin
----------------------	----------------------------

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b> <b>変更内容</b>
	4.0(1)        このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** キーチェーンが存在しない場合は、このコマンドによりキーチェーンが作成されます。新しいキーチェーンにはキーは含まれていません。

キーチェーンを削除すると、そのキーチェーンに含まれているキーも削除されます。

キーチェーンを削除する前に、そのキーチェーンを使用する機能が存在しないことを確認してください。機能が使用するキーチェーンが削除された場合、その機能は他のデバイスと通信できなくなる可能性があります。

このコマンドには、ライセンスは不要です。

**例** 次に、glbp-keys というキーチェーンを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# key chain glbp-keys
switch(config-keychain)#
```

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b> <b>説明</b>
	<b>accept-lifetime</b> キーの許容ライフタイムを設定します。
	<b>key</b> キーを設定します。
	<b>key-string</b> キー スtringを設定します。
	<b>send-lifetime</b> キーの送信ライフタイムを設定します。
	<b>show key chain</b> キーチェーンの設定を表示します。

